

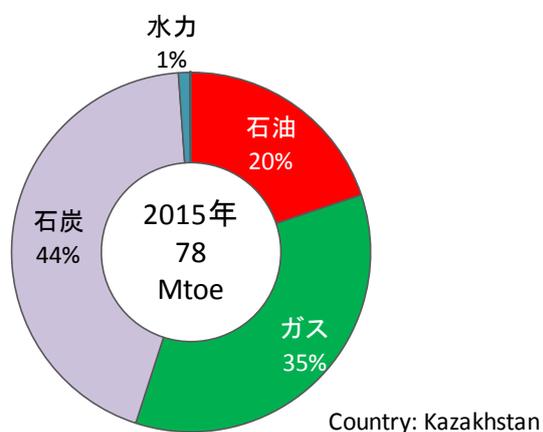
## 2-16 カザフスタン

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

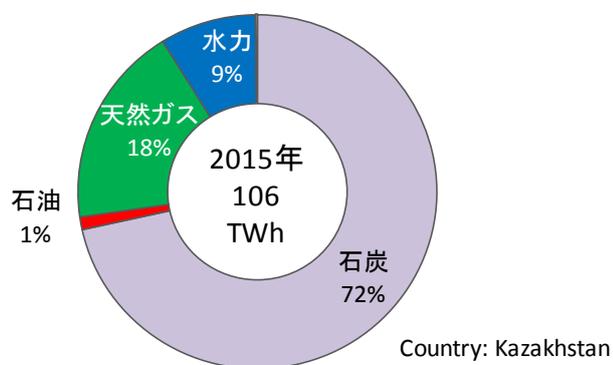
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 78 百万 toe (日本の 0.18 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 4.45toe (日本の 1.31 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 210%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 225.1 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 19.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 12.8CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 1.4 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 石油 49.0 年、天然ガス 48.3 年、石炭 250 年

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省が化石エネルギープロジェクト関連法の構築と戦略立案・実施、電力および原子力分野の推進と規制、環境保全を担当する。Kanat Bozumbayev 氏 (KEGOC 元取締役会会長、Pavlodar 地方前知事、2015 年 3 月～) が同省大臣を務める。但し、同国のエネルギー分野を実質的に支配しているのは、Nazarbayev 大統領娘婿の Timur Kulibayev 氏 (国家福祉基金「Samruk Kazyna」前総裁/Gazprom 現取締役)。

### (2) 基本政策

- 石油・天然ガスの輸出拡大を目指し、外資誘致・インフラ整備・輸出先確保を進めてきたが、2005 年の新 PSA (生産物分与契約) 法制定、2007 年の炭化水素・鉱物資源開発法の改正等、国家による資源管理が強化された。
- 原油と天然ガス輸出ルートが多様化を模索している。その一環として、CPC パイプライン能力拡張 (工事中)、中国向け原油パイプライン (完工) の他、カザフ原油をカスピ海経由で欧州に輸出する Kazakhstan Caspian Transportation System 構築を目指す。

### (3) 最近の動向

- 2016 年 9 月、2013 年 10 月以降生産停止中の Kashagan 海洋鉱区の生産が再開された。
- カザフスタンは OPEC と 2017 年 1 月の協調減産への協力で合意した。ただし、2016 年 10 月時点の原油生産量比 2 万 b/d 減産を約束したものの、同年 9 月に生産再開された Kashagan 鉱区からの生産が進展したため、2017 年通年の生産量は漸増となっている。
- 東芝グループはカザフスタンへの原子炉 1 基納入を見据え、2007 年には Kazatomprom に Westing House 株式 10%を US\$5.4 億で譲渡するなど、関係強化を進めてきた。しかし、2017 年 3 月に東芝は Westing House を含む海外連結子会社の再生手続きを NY 州連邦破産裁判所に申請。これを受け、Kazatomprom はプットオプションを行使できることから、同社の財務への影響はないと発表している。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- カスピ海 Kashagan 油田を採鉱・開発する AIOC (North Caspian Operating Co.) コンソーシアムに、Inpex (国際石油開発帝石) が 7.56%出資している。
- 2011 年 5 月、日本・カザフスタン原子力協定が発効した。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Kazakhstan

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		78 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		4.45 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.42 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		210 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		225.1 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		12.80 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	44 %
	石油	20 %
	天然ガス	35 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-110 %
(9) 石油の輸入依存度		-433 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	フランス
	第2位	ドイツ
	第3位	イタリア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : PIW Top 20 Crude Oil Exporters/ Importers